



「Setting Up the Network」

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Business ダッシュボードに関するネットワークの設定 \(1 ページ\)](#)
- [ネットワーク プラグアンドプレイの設定 \(5 ページ\)](#)
- [ネットワークの設定 \(7 ページ\)](#)

Cisco Business ダッシュボードに関するネットワークの設定

デバイス クレデンシャルの設定

Cisco Business ダッシュボードがネットワークデバイスを管理できるようにするためには、各デバイスにアクセスするための適切なログイン情報を指定する必要があります。

Probe がデバイスを検出すると、まずデフォルトのログイン情報（ユーザー名/パスワード：cisco/cisco）と SNMP コミュニティ（public）を利用してデバイスにアクセスしようとします。しかし、デバイスがデフォルトのクレデンシャルを使用していない場合は、以下で説明する手順に従って、正しいクレデンシャルを指定する必要があります。

1. **[管理]>[デバイス クレデンシャル]** に移動します。このページの最初の表には、ログイン情報を必要とする、検出されたすべてのデバイスが一覧表示されます。2 番目の表には、有効なログイン情報がすでに認識されているすべての検出済みデバイスが一覧表示されません。
2. ユーザー名とパスワードの組み合わせか、SNMP ログイン情報を、ページの上にあるそれぞれのフィールドに入力します。さらにログイン情報が必要な場合は、**[+]**（プラス）アイコンをクリックします。これにより、それぞれの種類のクレデンシャルを 3 セットまで入力できます。
3. **[Apply]** をクリックします。Probe は、ログイン情報が必要な各デバイスに対して、それぞれのログイン情報をテストします。各デバイスについて正常に機能するクレデンシャルが保存されます。

有効なログイン情報が指定されると、Probe は各ネットワークを検出し、ネットワークのトポロジマップとインベントリを生成します。

ご使用のネットワークの調査

ネットワークのマップまたはリストでネットワークの全体像を示します。すべてのネットワークの概要を表示するには、次の手順を実行します。

1. 前の章で説明されているとおりに Probe を Cisco Business ダッシュボードに関連付けていることを確認します。
2. Dashboard ナビゲーションで [Network] をクリックします。ボタンをクリックして [マップ] ビューまたは [リスト] ビューを表示します。
3. [マップ] ビューでは、マップをクリックし、ドラッグしてマップを移動すること、およびプラスおよびマイナス ボタンを使用して拡大および縮小を行うことができます。Cisco Business ダッシュボードプローブがインストールされている各ネットワークが、マップ上にアイコンで表示されます。各アイコンには、そのネットワークの未確認の通知の数を示す数字が含まれており、アイコンの色は、未確認の通知のうち重大度が最も高いものを示しています。アイコンをクリックすると、そのサイトの詳細が表示されます。複数のアイコンが重なって識別しづらい場合は、クラスターマーカーに変わり、そのクラスター内のネットワークアイコンの数が示されます。クラスターマーカーをクリックすると、そのクラスター内のサイトを拡大できます。

[リスト] ビューでは、表の左上隅にあるアイコンをクリックすると、表示する列を選択でき、また列見出しをクリックすると、表を並べ替えることができます。

4. 検索ボックスを使用すると、特定のネットワークや、特定のデバイスを含むネットワークを見つけることができます。検索ボックスには、ネットワークの名前、アドレス、または IP アドレスを入力できます。また、デバイスの名前、IP アドレス、MAC アドレス、またはシリアル番号を入力することもできます。
5. ネットワークをクリックすると、そのネットワークの詳細を示す [Basic Info] パネルが表示されます。この情報には、そのネットワークの名前とアドレス、未確認の通知の一覧が含まれています。
6. [Basic Info] パネルの [View] をクリックすると、ネットワークトポロジ図やフロアプランなど、ネットワークに関する詳細情報が表示されます。[More] をクリックすると、[Network Detail] ビューが開き、このネットワークの設定を変更したり、このネットワークで検出されたすべてのデバイスを表示したりすることができます。

また、[Inventory] を使用して、ネットワーク内のすべてのデバイスに関する詳細情報を表示することもできます。[Inventory] ページには、検出されたすべてのデバイスのリストが表形式で表示されます。リストをフィルタ処理して表示されるデバイスを限定したり、各デバイスをクリックしてそのデバイスの詳細情報を表示したりすることができます。

トポロジマップのカスタマイズ (オプション)

有効なログイン情報が指定されると、**Probe** は各ネットワークを検出して [Topology] マップを生成します。マップは必要に応じて調整できます。

1. [Network] に移動して、対象のネットワークを選択します。[View] をクリックして、トポロジを表示します。
2. 個々のデバイスアイコンをドラッグしてレイアウトを改善できます。レイアウトに加えた変更はすべてそのまま保持されます。Cisco Business ダッシュボードでは、アイコンの場所がさらに変更されることはありません。アイコンを再度自動配置する場合は、[Relayout Topology] をクリックします。
3. [Overlays] をクリックして、[Overlays and Filters] パネルを開き、チェックボックスを使用して、トポロジ図に表示されるデバイスの種類を制限します。

フロアプランのアップロード (オプション)

デバイスの位置を文書化するために、各ネットワークのフロアプランをアップロードしてネットワークデバイスを配置できます。以降のステップでは、この手順について順を追って説明します。

1. ネットワークのトポロジ図を表示する場合は、[Floor Plan] をクリックします。
2. 建物とフロアの名前を入力した後、画像ファイルをドロップゾーンにドラッグするか、ウィジェットの内部をクリックして PC 上の画像ファイルを選択します。サポートされる画像形式には、.png、.gif、.jpg があります
3. [保存 (Save)] をクリックして、変更内容を保存します。
4. デバイスをフロアプランに配置するには、[Add Devices] をクリックし、画面下部の検索ボックスにデバイス名または IP アドレスを入力します。一致するデバイスが表示されます。灰色で表示されたデバイスは、フロアプランにすでに配置されています。
5. デバイスをクリックし、フロアプランの正しい場所にドラッグして追加します。

監視ダッシュボードのカスタマイズ

以下の手順で、要件に合わせて監視ダッシュボードをカスタマイズできます。

1. 画面左側のナビゲーションから [ダッシュボード] を選択します。デフォルトのダッシュボードが表示されます。
2. ダッシュボード内の各ウィジェットを移動するには、ダッシュボードの右上にある歯車アイコンをクリックし、[Edit Mode] オプションを選択します。各ウィジェットをクリックしたまま目的の場所にドラッグします。サイズを変更するには、ウィジェットの端または隅をクリックしたままドラッグします。
3. 新しいウィジェットをダッシュボードに追加するには、ダッシュボードの右上にある歯車アイコンをクリックしてウィジェットを選択します。リストから、追加するウィジェット

を選択します。ダッシュボードからウィジェットを削除するには、編集モードの時にウィジェットの右上隅にある、ウィジェット削除用の [X] アイコンをクリックします。

4. ダッシュボードを正しくレイアウトできたら、ダッシュボードの右上にある歯車アイコンをクリックし、[View Mode] を選択して変更内容を固定します。
5. ウィジェットの動作を変更するには、ウィジェットの右上にある [edit widget configuration] アイコンをクリックします。ドロップダウンリストを使用して、ウィジェットがモニタする特定のデバイス、インターフェイス、ネットワークを選択します。

電子メール設定の実行（オプション）

Cisco Business ダッシュボードは、選択したイベントがネットワーク内で発生した場合に、電子メールで通知することができます。電子メールを生成するイベントを制御するには、[通知表示のカスタマイズ（4 ページ）](#) を参照してください。電子メールを設定するには、次の手順を実行します。

1. [System] > [Email Settings] に移動します。
2. このページで、送信メッセージに使用する電子メールサーバーとポート、暗号化と認証の設定、使用する電子メールアドレスを指定できます。
3. 設定を完了したら [保存] をクリックします。
4. 行った変更をテストするには、[Test Connectivity] をクリックします。

通知表示のカスタマイズ

以下の手順を使用して、通知の動作をカスタマイズできます。

1. [Administration] > [Organizations] に移動し、通知動作をカスタマイズする組織を選択します。
2. [Notification] をクリックします。
3. [Inherit From Notification Defaults] チェックボックスをオフにします。チェックボックスを使用して、ユーザーインターフェイスにポップアップアラートを生成する通知と、電子メール通知を生成する通知を制御します。電子メール通知を使用する場合は、電子メールの設定が適切に行われていることを確認する必要があります。詳細については、[電子メール設定の実行（オプション）（4 ページ）](#) を参照してください。
4. [Save] をクリックします。

[Administration] > [Notification Defaults] に移動して、[Notification Defaults] をカスタマイズすることもできます。

ネットワーク プラグアンドプレイの設定

Cisco Business ダッシュボードは、選択したシスコデバイスのファームウェアおよび設定ファイルを一元管理できる Cisco ネットワーク プラグアンドプレイ サービスを提供しています。ネットワーク プラグアンドプレイの詳細については、『[PnP Solution Guide](#)』を参照してください。

ネットワーク プラグアンドプレイを設定するには、次のタスクを実行します。

アップロード ファームウェア

1. [ネットワーク プラグアンドプレイ]>[イメージ]に移動します。
2. **+** (プラス) アイコンをクリックします。
3. 組織を選択し、自分の PC からファームウェアファイルをドラッグして、[UploadFile] ウィンドウのターゲット領域にドロップします。または、ターゲット領域をクリックし、アップロードするファームウェア イメージを選択します。
4. [Upload] をクリックします。

1 つ以上のデバイス タイプに対してイメージをデフォルト イメージとして指定できます。イメージをデフォルト イメージとして指定するには、以下を行います。

1. [イメージ] 表でイメージのチェックボックスを選択し、[編集] をクリックします。
2. [製品 ID のデフォルト イメージ] フィールドに、製品 ID のカンマ区切りリストを入力します。製品 ID には、単一文字を表すワイルドカード文字の「?」、および文字列を表すワイルドカード文字の「*」を含めることができます。
3. [save] をクリックします。

設定のアップロード (オプション)

1. [ネットワーク プラグアンドプレイ]>[設定]に移動します。
2. **+** (プラス) アイコンをクリックします。
3. 組織を選択し、自分の PC から設定ファイルをドラッグして、[Upload File] ウィンドウのターゲット領域にドロップします。または、ターゲット領域をクリックし、アップロードする設定ファイルを選択できます。
4. [Upload] をクリックします。

設定をアップロードする代わりに、Dashboard アプリケーションで提供される付属の設定テンプレートを使用することもできます。必要に応じて、設定ファイルの名前をクリックして内容を表示できます。

ディスカバリの設定

ネットワーク デバイスでネットワーク プラグアンドプレイを使用するには、最初にネットワーク デバイスがネットワーク プラグアンドプレイ サーバーを検出する必要があります。この情報をデバイスに提供するために、次の3つのメカニズムを使用できます。

1. **DHCP** : ネットワークデバイスは、DHCP オプション 43 を使用して、ネットワーク プラグアンドプレイサーバーのアドレスを取得できます。オプション形式の詳細については、『[Cisco Business Dashboard Administration Guide](#)』の「*About Network Plug and Play*」のセクションを参照してください。
2. **DNS** : ネットワークデバイスは、DHCP を使用してサーバーアドレスを取得しない場合、ローカルドメイン (*pnpserver.example.com* など) 内の既知のホスト名 (*pnpserver*) をルックアップしようとします。この名前が Cisco Business ダッシュボードのアドレスに解決されるように DNS インフラストラクチャを設定できます。
3. **Plug and Play Connect** : シスコは、リダイレクトサービスである **Plug and Play Connect** を提供しています。他の方法でサーバーのアドレスが見つからない場合、デバイスはこのサービスに問い合わせます。ネットワークのリダイレクトサービスを設定するには、『[Cisco Business Dashboard Administration Guide](#)』の「*Network Plug and Play*」のセクションを参照してください。

デバイスの登録

設置の準備でデバイスを登録するには、以下を行います。

1. **[Network Plug and Play] > [Enabled Devices]** に移動します。
2. **[+]** (プラス) アイコンをクリックします。
3. 登録するデバイスの名前、製品 ID (PID)、シリアル番号を入力し、ドロップダウンリストから組織、ネットワーク、デバイスグループ、デバイスタイプを選択します。
4. このデバイスに対して使用するファームウェアイメージ、設定ファイル、またはこれらの両方を選択できます。イメージとして **[デフォルト イメージ]** を選択した場合、デバイスは、サーバーへの接続時にそのデバイスタイプのデフォルトとして指定されているイメージを使用します。
5. **[Save]** をクリックします。

デバイスの自動要求

サーバーに接続しているにもかかわらずインベントリに存在しないデバイスは、未要求デバイスと見なされます。デバイスの製品 ID に対して自動要求ルールを作成することで、サーバーで未要求デバイスが自動的に要求され、プロビジョニングされるようにすることができます。自動要求ルールを作成するには、以下を行います。

1. **[ネットワーク プラグアンドプレイ] > [自動要求デバイス]** に移動します。
2. **[+]** (プラス) アイコンをクリックします。

3. 自動要求するデバイスの製品 ID (PID) を入力し、ドロップダウンリストから組織、ネットワーク、デバイスグループ、デバイスタイプを選択します。
4. この製品 ID に対して使用するファームウェア イメージ、設定ファイル、またはこれらの両方を選択できます。イメージとして[デフォルトイメージ]を選択した場合、自動要求デバイスは、サーバーへの接続時にそのデバイスタイプのデフォルトとして指定されているイメージを使用します。
5. [Save] をクリックします。

ネットワークの設定

新しいネットワークをインストールする場合、この機会にネットワークの初期設定を行うとよいでしょう。既存のネットワークであっても、このときに設定変更を行うことができます。

デバイスのファームウェアの更新 (オプション)

ネットワーク内のデバイスに利用可能なファームウェアの更新がある場合、Dashboard はユーザーに通知します。また、ユーザーインターフェイスのいくつかのエリアに、デバイスを対象とする [Update Firmware] アイコンが表示されます。

1 つのデバイスのファームウェアを更新するには、以下の手順を実行します。

1. **トポロジ マップ**でデバイスをクリックし、[基本情報] パネルを表示します。
2. [アクション] パネルを開き、[ファームウェアの最新へのアップグレード] ボタンをクリックします。Dashboard は必要なファームウェアをシスコからダウンロードし、デバイスに更新を適用します。デバイスはこのプロセスの一部としてリブートします。
また、ファームウェアを PC からアップグレードすることもできます。そのためには、[ローカルからのアップグレード] オプションをクリックし、アップロードするファームウェア イメージを指定します。
3. アップグレードの進行状況を表示するには、ユーザーインターフェイスの右上にある [Task Status] アイコンをクリックします。

[インベントリ] ビューから個々のデバイスをアップグレードすることもできます。詳細については、『[Cisco Business Dashboard Administration Guide](#)』の「*Viewing Device Inventory*」のセクションを参照してください。

ネットワークのファームウェアの更新

使用可能な最新のファームウェアにネットワーク全体をアップグレードする場合は、以下の手順を実行します。

1. 更新するネットワークの [Topology Map] を開きます。
2. ページ上部の [Network Actions] をクリックし、[Upgrade Firmware] オプションを選択します。Dashboard は、使用可能な更新がある各デバイスに必要なファームウェアファイル

シスコからダウンロードし、更新を各デバイスに順番に適用します。各デバイスはこのプロセスの一部としてリブートします。

3. アップグレードの進行状況を表示するには、ユーザーインターフェイスの右上にある [Task Status] アイコンをクリックします。

デバイス グループの設定

Dashboard は、デバイスグループの概念を使用して、設定を複数のデバイスに同時に適用したり、ネットワーク全体で設定を一致させたりすることができます。デバイスをデバイスグループに割り当てるには、以下の手順を実行します。

1. [管理] > [デバイス グループ] に移動します。
2. + (プラス) アイコンをクリックして新しいグループを追加します。
3. デバイスグループの組織、名前、説明を入力します。[Save] をクリックします。
4. デバイスをデバイスグループに追加するには、[Devices] テーブルの [+] (プラス) アイコンをクリックします。グループに追加するデバイスを検索するには、検索ボックスを使用します。グループに参加させる 1 つ以上のデバイスを選択します。各デバイスは、1 つのグループのみのメンバーになることができます。選択したデバイスがすでに別のグループのメンバーになっている場合は、そのグループから削除されます。デバイスをグループから削除するには、デバイスの横にある [Delete] アイコンをクリックします。デバイスは [Default] デバイスグループに移動されます。デバイスグループには、異なるデバイスタイプを混在させることができます。

設定プロファイルの作成

Dashboard では、複数のネットワークデバイスに共通の設定を簡単に適用できます。[Network Configuration Wizard] を使用して設定の各セクションの設定プロファイルを作成したり、プロファイルを個別に作成したりすることができます。[Network Configuration Wizard] を使用するには、次の手順を実行します。

1. [Network Configuration] > [Wizard] に移動します。
2. 作成する設定プロファイルの名前を入力して組織を選択し、設定を適用するデバイスグループを 1 つ以上選択します。
3. [Next] をクリックします。
4. このグループの時刻設定を指定します。[時間管理] プロファイルには、タイムゾーン、夏時間、および NTP の設定が含まれています。このグループの [時間管理] プロファイルを作成しない場合は [スキップ] をクリックし、そうでない場合は [次へ] をクリックします。
5. このグループの [DNS 設定] を指定します。[DNS リゾルバ] プロファイルには、ドメイン名と使用する DNS サーバーの設定が含まれています。このグループの [DNS リゾルバ] プロファイルを作成しない場合は [スキップ] をクリックし、そうでない場合は [次へ] をクリックします。

6. このグループのユーザー認証設定を指定します。[認証] プロファイルには、デバイスのローカルユーザーデータベースの設定が含まれています。このグループの[Authentication] プロファイルを作成しない場合は [Skip] をクリックし、作成する場合は [Next] をクリックします。
7. このグループ用に作成する仮想 LAN を指定します。VLAN プロファイルには、1 つ以上の VLAN の詳細情報を含めます。VLAN プロファイルを作成しない場合は、[Skip] をクリックします。VLAN を複数追加する場合は、各 VLAN を作成した後に [Add Another] をクリックします。[Next] をクリックします。
8. このグループ用に作成するワイヤレス LAN を指定します。ワイヤレス LAN プロファイルには、1 つ以上の SSID の詳細情報を含めます。ワイヤレス LAN プロファイルを作成しない場合は、[Skip] をクリックします。SSID を複数追加する場合は、各 SSID を作成した後に [Add Another] をクリックします。[Next] をクリックします。
9. 行った設定を見直します。変更する場合は [Edit] を使用するか、[Back] を使用して適切な画面に戻ります。満足したら [終了] をクリックしてプロファイルを作成し、選択したデバイス グループのデバイスに適用します。
10. 設定の進行状況を確認するには、ユーザーインターフェイスの右上にある [Task Status] アイコンをクリックします。

デバイス設定のバックアップ

Dashboard では、ネットワークデバイスの設定をバックアップできます。1 つのデバイスの設定をバックアップするには、以下の手順を実行します。

1. **トポロジマップ**でデバイスをクリックし、[基本情報] パネルを表示します。
2. [アクション] パネルを開き、[バックアップ設定] ボタンをクリックします。必要に応じて、表示されるウィンドウでこのバックアップを説明するメモを追加できます。[Dashboard] にデバイスの設定がコピーされます。
3. バックアップの進行状況を表示するには、ユーザーインターフェイスの右上にある [Task Status] アイコンをクリックします。

個々のデバイスをバックアップすることもできます。そのためには、[インベントリ] ビューで [バックアップ設定] をクリックします。

ネットワーク全体の設定をバックアップするには、以下の手順を実行します。

1. バックアップするネットワークの [Topology Map] を開きます。
2. ページ上部の [アクション] ボタンをクリックし、[バックアップ設定] オプションを選択します。必要に応じて、表示されるウィンドウでこのバックアップを説明するメモを追加します。Dashboard に各デバイスの設定がコピーされます。
3. バックアップの進行状況を表示するには、ユーザーインターフェイスの右上にある [Task Status] アイコンをクリックします。

